

A: すみません。ファックスの調子が悪いので見てもらってもいいですか？

B: えー！中学生のわたしが見ても良いの？かえって壊しちゃうかもよ？

A: わたし本当に機械に弱くて。こういうのって若い人の方が得意なんじゃないの？

B: 若い人って言ってもさあ、限度があるじゃん！まあ、見てあげてもいいよ？わたし、お母さんから頼られてるし！

A: それは頼もしい！お母さんと仲いいのね。

B: 仲がいいってというか、お母さんとわたし、二人っきりの家族だからね。

A: そうなんだ。わたしは転勤族の家庭で育ったからあまり友達がいらないの。

B: あー、かわいそう！わたしも、最近愛媛から転校してきたからさ、同じだね！

A: 本当だね。よかったらお友達にならない？わたし趣味で手芸をやってるんだけど一緒にやってみない？

B: やってみたい！でも、帰りが遅くなるのはちょっと困るな。暗いところが苦手だから、帰り道が怖いよ。

A: その時は送って言ってあげるから安心して。わたし普段はインドア派なんだけどそれくらいするわよ！

B: わあ、親切な人で良かった。ありがとう！